

平成 29 年度事業計画

[活動方針]

- 問題視されて久しい青少年の家庭内暴力、万引きやいじめ等を無くすためには情操教育が不可欠と考え、日本人の心のふる里「伊勢神宮」に程近い「ひもろぎの里」の大自然の中で野外活動を中心に地元教育機関や多くの人々の協力を得ながら実施して行く。
- 創会の理念である奉仕・友愛・責任・忍耐・進取の精神を次世代の若者達に伝え、幼・少・青・壮・老それぞれの世代に応じ、少年から青年へそして壮・老年代へと輪を広げ、自然との共生、年代間の連携を図り、より住みやすい社会建設に貢献して行く。
- 国際協力の一環として、わが国の優れた物造り技術を発展途上国の若者に伝え、その技術を自国に持ち帰り経済発展に寄与できるような人材育成を支援する。
- 東日本大震災被災者支援に協力する。

[重点方針]

- 家庭や社会に適応できる青少年の健全育成
- 近隣諸国からの研修生支援
- 会員増強と支部強化
- 「ひもろぎの里」整備の件

[事業内容]

1. 植樹祭

目的：年ごとに森林の面積が減少する現在、森林保護、環境保全を目的に計画した。

事業：大自然一杯の神宮林に囲まれた「ひもろぎの里」に神宮より下付された貴重な苗木を植樹し、世界的に展開されているアースデーの一環としてミニアースデーを展開する。

内容：100本の苗木を植樹、森の話と間伐についての講話とデモンストレーション

開催日：平成 29 年 4 月 23 日（日）

場所：ひもろぎの里

人員：20 名

参加費：大人 1,000 円、子供無料

2. ユースキャンプ

目的：大自然の中での集団生活を通して友情を育み、自然への思いやりや感謝の心、奉仕の精神を養うことを目的に計画した。

事業：「ひもろぎの里」を中心にその周辺で異地区・異年齢の子供達を 3 泊 4 日のキャンプ（テント）生活をさせる。

内容：登山・水泳、絵画、史跡巡り等伊勢地方の特徴を活かしたものにす。

開催日：平成 29 年 7 月 29 日（土）～ 8 月 1 日（火）（3 泊 4 日）

場所：ひもろぎの里及びその周辺

人員：50 名

参加費：15,000 円

3. ワークキャンプ

目的：ユースキャンプの指導者養成と会場整備及び準備を目的として計画した。

事業：近年ユースキャンプの卒業生（OB）の希望者が多々有り、本会としても要請に答

えて実施する。

内 容：キャンプ場の整備、キャンプ実施に伴う基本事項の習得（飯ごう炊飯の方法、テント、設営、キャンプファイヤーの基本、集団行動の方法、川遊びの基本）

開催日：平成 29 年 7 月 15 日（土）～7 月 17 日（月） 2 泊 3 日

参加費：無料

人 員：10 名

4. 山の神祭り

目 的：古来より自然信仰の中で生まれた行事で、広く山里や山林地区で行われている伝統行事を「ひもろぎの里」に祀られた「山の神」で後世に引き継ぐ為に行う。

事 業：ここ「ひもろぎの里」は、大和国は地蔵尊、伊勢国は神様と言われた土地柄で、自然の恵に対する感謝を込めて祭りを斎行する。

内 容：伊勢神宮より神職を迎え式典を行い、神職による講話がなされる。

開催日：平成 29 年 12 月 9 日（土）

場 所：ひもろぎの里

人 員：15 名

参加費：1,000 円

5. 第 72 回庭燎奉仕・奉納

目 的：創会の原点である「奉仕・友愛・忍耐・責任・進取」の精神を涵養する為に行う。

事 業：本会主催のこの行事は、昭和 20 年より神宮の境内をお借りして上記目的を達成するための最重要行事で、69 年目を迎え、伊勢地方の風物詩伴っている伝統行事。

内 容：伊勢神宮（内宮・外宮両宮）境内で大晦日より元旦にかけ「かがり火」を焚き、全国から初詣に来られる人々の足下を照らし、安全と心の触れ合いを育む。

開催日：平成 29 年 12 月 30 日（金）～平成 30 年元旦（日）

場 所：ひもろぎの里及び両宮境内

人 員：120 名

参加費：9,000 円（会員）、15,000 円（一般）

6. 技能実習生（以降実習生という）受入れ事業

活動方針

国際協力事業の一環として、わが国の優れた物づくりの技術をアジア近隣の発展途上諸国の若者を受入、技術習得のために 3 年間、技能実習を実施する。

技能実習生として習得した技術は、3 年後に帰国してから母国の経済発展に寄与するために働く。

重点方針

アジア近隣諸国から技能実習生を受入れ、3 年間の滞日中の技術習得活動と生活面の支援活動を行う。

今年度は、受入企業からの要望の強いベトナム国からの青年男女の受け入れを重点的に行うことを考え、春と秋には選抜のためにハノイを訪問する。

具体的な取組

1. 受入企業のなかで、最近、受入国を替えてベトナム国の実習生を受入れる希望が多いので、技能実習生の質を高めるため、送り出し機関の選定が重要であるので、新

- たに大手送り出し機関との契約を締結する。
2. 春、秋の二シーズンに別けて、30～35名程度受け入れるために、受入企業の社長、または研修責任者のベトナム国訪問による面接を実施する。
 3. 来日直後に日本語力を付けるために入校させる日本語学校は、講師、設備、宿泊設備等を精査して良い学校の入れ、終了後企業に派遣する。
 4. 制度改正による管理団体の責任の大きさを自覚して、常時企業と実習生に対して計画的に巡回指導と監査を実施していく。
 5. 制度改正に伴う介護職種に多くの受け入れ希望があるので、初めての人的サービスの在り方と選抜について十分な研究、検討を行う。

[会 議]

1. 理事会

1) 決算理事会

期 日：平成 29 年 5 月 27 日（土）

場 所：東京本部

議 題：平成 28 年度事業報告（案）・収支決算（案）の件、
「ひもろぎの里」整備の件
その他の件審議

2) 予算理事会

期 日：平成 30 年 1 月 27 日（土）

場 所：神宮会館（三重県伊勢市宇治中之切町 1 5 2）

議 題：平成 31 年度事業計画（案）・収支予算（案）の件
平成 31 年度資金調達及び設備投資の見込みについて
その他の件審議

3) 理事・参与打ち合わせ

期 日：平成 29 年 12 月 9 日（土）

場 所：ひもろぎの里

議 題：第 72 回庭燎奉仕・奉納の件、他

2. 第 6 回通常総会

期 日：平成 29 年 6 月 24 日（土）

場 所：神宮会館（三重県伊勢市宇治中之切町 1 5 2）

議 題：平成 29 年度事業報告（案）報告・決算報告（案）承認の件
「ひもろぎの里」整備の件
その他審議

[広 報]

ホームページを通じ積極的な広報活動を行い、会員増強や会の PR その他に努める。

「ひもろぎの里」管理棟老朽化に伴う改修又は建替事業

1. 改修及び建替に係わる費用の算出
2. 工期の検討
3. 費用の捻出：免税募金を中心に？
4. 他